

# 現在の国際交渉の重要テーマと 今後の見通し

---

2024年7月19日 CAN-Japan主催 SB60・G7報告会  
気候ネットワーク 田中十紀恵

# SB60とG7プーリア・サミット

## SB60

(国連気候変動枠組条約第60回補助機関会合)

- 2024年6月3日から13日
- ドイツ・ボンで開催
- **COP29(2024年11月、アゼルバイジャン)**に向けた準備会合
  - SBI(実施に関する補助機関)
  - SBSTA(科学上及び技術上の助言に関する補助機関)

## G7プーリア・サミット

- 2024年6月13日から15日
- イタリア南部・プーリアで開催
- 議題
  - セッション1「アフリカ、気候変動、開発」
  - セッション2「中東情勢」
  - セッション3「ウクライナ情勢」
  - セッション4「移住」
  - セッション5「インド太平洋、経済安全保障」
  - セッション6「AI、エネルギー／アフリカ、地中海」

参考:外務省ウェブサイト

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/pageit\\_000001\\_00752.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/ec/pageit_000001_00752.html)

# 2024年の気候変動国際交渉の重要なテーマ

---

## 途上国への資金支援

COP29において2025年以降の気候資金に関する目標(NCQG)を決定 など

## 2035年の温室効果ガス排出削減目標(NDC)

COP28グローバル・ストックテイクの合意に沿って、各締約国は**COP30の9～12か月前には提出**

+ 2024年末までに、隔年透明性報告書(BTR)を提出

Outcome of the first global stocktake

[https://unfccc.int/sites/default/files/resource/cma5\\_auv\\_4\\_gst.pdf](https://unfccc.int/sites/default/files/resource/cma5_auv_4_gst.pdf)

# 補助機関会合について

---

気候変動枠組条約  
締約国会議  
(COP)

京都議定書締約国会合  
(CMP)

パリ協定締約国会合  
(CMA)

補助機関会合(SB) ※年に2回開催  
気候変動枠組条約のもと設置された補助機関の会合  
・SBI:実施に関する補助機関  
・SBSTA:科学上及び技術上の助言に関する補助機関

**SB会合からの提言は、COP決定に大きく影響**

## SB60での主な議題、イベント等

資金	2025年以降の気候資金の目標(NCQG) 適応資金 など
GST	第1回グローバル・ストックテイクのフォローアップ 次回グローバル・ストックテイクの実施プロセス
緩和	緩和作業計画(MWP) 第3回グローバル対話、投資関連イベント(2024年のテーマは「都市:建築物と都市システム」)
適応	適応に関する世界全体の目標(GGA)の進捗を測る指標の検討のための作業計画 (UAE-ベレン作業計画)に関する議論 など
損失と損害	第3回損失と損害に関するグラスゴー対話(損失と損害に対する支援体制の連携強化 や、資金の役割) など
公正な移行	公正な移行作業計画における第1回対話イベント、作業計画実行に向けた議論
6条	6条2項(協力的アプローチ)、4項(市場メカニズム)、8項(非市場アプローチ)に関する 議論